

事前打合せ:(12/11) 10:00~11:30

自主防災会幹事および組織協力者による実施計画の作業確認

前日作業:(12/17) 13:00~16:00

準備作業担当 14 名による「会場設定予備作業」を行なう

【資機材の搬出】 防災倉庫から炊き出し訓練に必要な資機材を搬出

【炊き出し準備】 燃料用の薪割り、雑煮用具材の下拵えなど

【当日の炊き出し訓練実施報告】

1. 会場準備作業 (8:30 から9:30)

実施計画(既提出済み)に基づく作業スケジュール(H17,12,18 9:00~13:00)に従って、午前 8:30 に会場に集結した準備班 25 名により、集会所前での会場設営作業が行なわれた。

「テント設営」は、計画では 2 幕を設営する予定だったが、今冬一番の寒気による強風に見舞われたので 1 幕に制限し、テントが飛ばされないように支柱パイプに「コンクリートブロック」にロープをかけて、“重石”代わりに括りつける。

この想定外作業のため、設営に大幅な時間(作業は 6 名で、45 分間)を要してしまった。炊き出し訓練(カマド焚き)は計画通り 3 基を設置し、燃料の薪は前日用意したもの(工場廃棄材)を使用した。強風下であるため、釜 1 基ごとに責任者を決め、周辺には消火用バケツを配し、地面には常に水を撒いて置くことを指示し、安全に万全を期した。



2. 調理作業 (9:00~9:30)

14 名の準備班で、食器洗い、食材の仕込み、配膳器具の配置などを計画通りの時間で整然と対応した。



3. 参加者の確認作業 (10:00 ~)

会場の一角に「受付」コーナーを設け、来場者に記帳（氏名と住所）をして貰い、記帳された人に「受付済み」を証するシールを貼らせてもらった。（記帳参加者：195名）



4. 給食・配膳作業 (10:00 ~)

雑煮配食準備（高花4丁目町内会担当）は計画通り10時に完了。テント内に配置された「給食・配膳」担当班12名（相互に交代）により、円滑な配膳作業が順次進められた。



5. 防災資機材のメンテナンス訓練

- 1) 強風下のテント張りは想定外（横幕付きは危険）で、防風対策として「重石とロープ」が必要なことを確認した。
- 2) 炊き出し場所に配置する「消火バケツ」の必要性を感じた。バケツは消火だけでなく、非常時の給水配達にも有効と考え、資機材として常備を検討する。
- 3) かまどの劣化（特に火格子）が認められたほか、調理器具の一部で“ゴムパッキング”の劣化が確認され、補修を検討課題とした。

以上